

平田ロータリークラブ 週報

平成18年 5月11日

No.1563

発行日 毎週木曜日

超私の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
第2690地区ガバナー 延原 正

△事務局▽
島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 大谷 孝 副会長 加藤喜久
幹事 内田節夫 会計 加藤昇

例会プログラム

例会	卓話者	演題
第1563回	NPO法人菜の花鉄道を作る会代表理事 馬庭崇一郎様	菜の花に夢をのせて
第1564回	一畑電気鉄道株式会社社長 大谷厚郎様	一畑グループの取組み
第1565回	地区協議会出席者	地区協議会報告

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正率
50	41	9(2)	85.42	97.83

欠席者 大島卓・原孝・持田・吾郷・堀江・園山・佐藤(杉原・曾田)
M U 4/30藤井・加藤喜・黒田・横野・大島治・大島卓・大谷・内田(出雲中央) 5/6荒木・河原
飯塚大・飯塚佳・加藤喜・黒田・牧野・松浦・森山・小村・大島卓・大谷・田中久・田中浩
恒松・内田・藤井(RAC) 5/7大谷・内田・田中浩 5/8大島卓・高砂・飯塚詔(出雲中央)
5/10名原・黒田・山根・高砂・吾郷(大社)

幹事報告

- 例会変更
○出雲中央RC 5/22(月)職場訪問例会 ビジター受付 11:30~12:30 事務局
- 古瀬ガバナー補佐より5RC作品展のお礼

委員会報告

<プログラム> 5月、6月例会プログラム予定表配布

スマイル

大谷・内田 第2690地区ローターアクト年次大会には、ご出席、ご協力ありがとうございました。
田中浩 5月6・7日の第2690地区ローターアクト年次大会、無事終了いたしました。
全員登録、多数御参加ありがとうございました。
飯塚大 馬庭崇一郎様ようこそいらっしゃいました。
田中久 5RC作品展、出品された会員、ご家族に御礼申し上げます。

5月25日例会受付当番

飯塚大幸・曾田八郎・杉原邦彦

- | | | |
|------------------|-----------|---------------|
| ★松江南クラブ(月) | ★出雲クラブ(火) | ★平田RAC(第1・3水) |
| ★出雲中央クラブ(月) 5/22 | ★松江クラブ(水) | ★松江東クラブ(木) |
| ★松江しんじ湖(火) | ★大社クラブ(水) | ★出雲南クラブ(金) |

会長挨拶

長いゴールデンウィークも終わりました。この期間中、RC関係にも諸行事がありました。(1)出雲5RCの会員、家族の作品展(4/28-5/2)(2)出雲中央クラブ15周年記念式典(4/30)(3)RI第2690地区ローターアクト年次大会(5/6、7)会員の皆様にはご参加、ご協力ありがとうございました。

ローターアクト(RAC)年次大会は平田RACがホストで、そのスポンサーが平田RCであり心配しました。

RAC年次大会はアクシデント続きでした。平田RACは4名で、うち2名が病気などで出席出来ず2名で頑張り、それを松江、米子RACが支援する形で開催され、また九州よりのバスがおくれ、開会式に間に合わず、さびしい開会式でした。

懇親会は100名以上のRACのメンバーも揃い、若いエネルギーで盛り上がりました。翌日は分科会で出雲新話一昔を今につたえよう一で真剣に討論されました。平田RACの2名は松江・米子のRACの支援を受けて立派に大会を運営されました。

講評でもアクシデントの中で平田RACはよく運営されたと評価を受けられました。代表の内田涼子さんが、みんなの協力で無事大会を終えたことに涙ながらの謝辞は印象的でした。

RI 2690地区のRACメンバー120名のうち今回12名卒業しましたことはこれからの運営・存立に大きな問題を残しました。

スピーチ

菜の花に夢をのせて

NPO法人菜の花鉄道を作る会

代表理事 馬庭 崇一郎 様



NPO法人菜の花鉄道を作る会代表の馬庭です。菜の花を植えて一畑電鉄の業績向上の一助となれるよう活動をしています。元々は一畑電車には何の愛着もありませんでした。川跡の駅の近くに自宅と会社を移したのをきっかけに田園風景の中をゆっくり走る一畑電車を見る機会ができよい物だと思ようになりました。ある年自生の菜の花が咲きその中を電車が走る光景をみて、全線に菜の花を植えれば一畑電鉄の業績向上の一助となり又休耕田等の保全にもなるのではないかと漫然とおもいつきました。職業がモロヘイヤの栽培・加工ですので農業には当然興味がありました。平成16年の9月に一畑電鉄さんの許可をいただき川跡・高浜間2.5キロメートルに種を蒔きました。安易に考えていたのですが、実際は、全滅しました。次の年はボランティアの協力を得て全線に蒔こうと考えましたが、鉄道の安全面から出来ませんでした。観点を変え平地の休耕田に目をつけ借りれる処を物色していたところ一畑電車で緑の深い一畑口に借りれる場所があり1ヘクタールかりました。

その際には一畑薬師の管長様にも大変お世話になりました。

今年の4月16日には菜の花電車祭りというイベントも開催し約1000名の来場がありました。古い車両を使った写真展やコンサートが好評でした。多少は地域の活性化にも役立てたと思います。

昔のような交通の主役という姿にはならないと思いますが、廃線にならないよう微力ですが努力を続けたいと考えています。花の種類をふやし、年間を通じて楽しめるようになればもっと一畑電鉄の活性化ができるのではないかと考えています。